令和７年度　第７号（3/９）
陽北中学校　第３学年

学年だより

『１５の春にＶサイン』

３年前、真新しい制服に身を包み迎えた入学式から、あっという間に３年間が過ぎました。

１年生の冒険活動教室では、登山や野外炊飯、キャンドルファイヤーを通して仲よくなりました。

２年生の宮っ子チャレンジでは、校外に出て活動し、「社会の一員である」自覚が芽生えました。立志式では自分を見つめ、志を色紙にしたためました。スキー教室も貴重な経験となりました。

３年生では修学旅行に行きました。京都と奈良で仲間と過ごした「今しかできない」３日間は、色あせることのない一生の思い出になりました。あの時のみんなの笑顔を、私は忘れられません。

また、コロナ禍を経て、この３年間は運動会や合唱コンクールを通常開催することができました。運動会では、学年種目や全員リレーで頂点をめざし、競技に熱が入りました。合唱コンクールでは、各クラスで選んだ曲をじっくりと歌い込み、感動的なハーモニーを奏でることができました。

たくさんの思い出が詰まった中学校生活も、明日の卒業式をもって９年間の義務教育が終了し、４月からは自分で決めたそれぞれの道に向かって進むことになります。

明後日には県立高校の合格発表が行われますが、自分の予想しなかった方向に進んだとしても、その新しい状況に応じて、自分の良いところや強みを見出し、たくましく生きることが大切です。

人生はちょっとしたことで大きく変わります。どのような結果になっても、その良さを見つけ、「よし、この道で頑張ろう」と思えばよいのです。大切なことは「どの高校に入ったか」ではなく、「その高校で何をやったか」「今後の人生をどのように切り拓いていくか」ということなのです。これから進んで行くそれぞれの道を、自信と誇りをもって、堂々と歩んでいってください。

これからもみなさんのご多幸とご活躍を願っています。

贈る言葉　「未来を拓く君たちへ」

ご卒業おめでとうございます。私は、１年３組の担任を務めた後、２年生からは木口学年主任の任務を引き継ぎ、２年間、学年主任を務めさせていただきました。

卒業にあたり、（ちょっと真面目過ぎるのですが）メッセージを贈らせていただきます。

「未来を拓く君たちへ」

君たちには、自分のすばらしさに気付き、己（おのれ）のためだけでなく、多くの人々のために、そして、世の中のために、大切な何かを成し遂げようという志を抱いて生きてほしいと思います。

志を抱いて生きる人間は、たとえ、苦労や失敗、挫折に直面しても、人生が語りかける声に耳を傾け、その意味を理解し、自分の成長の糧とする覚悟を持ち、成長の道を歩むことができます。

そして、いかなる人生の出来事も、すばらしい生き方に結び付けていくことができるのです。

「色々な苦労や失敗、挫折があり、苦しみや悲しみ、寂しさも味わった。しかし、それがあったからこそ、私の心は、こうして成長を遂げることができた。そして、すばらしい人生を歩むことができた。」そのような生き方ができた時、私たちは「最高の人生だった。だから、もしこの人生をもう一度繰り返せと言われるならば、喜んでこの人生をもう一度生きたい。」と言えるようになるのだと思います。「自ら人生を舵取りできる力」を育み、すばらしい人生を歩んでください。

最後になりますが、ステキな思い出をありがとう。みなさんと出会うことができたご縁に心から感謝するとともに、みなさんのご活躍を心からお祈りしています。お元気で。（鈴木 健介より）

３／３１（火）離任式の連絡

★卒業生が離任式に参加する場合の注意点
・１１時３０分までに校庭集合
・制服（制服でない場合は校庭で待機）
・自転車の駐輪は今までの自転車置き場

３年間ありがとうございました

保護者の皆様、お子さまのご卒業おめでとうございます。

誠心誠意やってきたつもりですが、至らぬ点もあったかと思います。皆様のこれまでのご厚情に感謝申しあげます。

旅立つ生徒たちにエールを送るとともに、保護者の皆様には、ＰＴＡ活動や学校行事等でご協力いただいたことに感謝申しあげます。３年間、本当にありがとうございました。

（３学年職員一同）

※この学年だよりには、生徒の名前や写真等が掲載されていますので、取扱にはご注意ください。（文責：鈴木）